

別記様式

		担当課	生涯学習課																		
会議の名称	第2回鴻巣市立図書館協議会																				
開催日	令和5年11月17日(金)																				
開催時間	午後2時00分開会・午後3時30分閉会																				
開催場所	鴻巣市役所本庁舎3階303会議室																				
議長(委員長・会長)氏名	委員長 奈良 高男																				
出席者(委員)氏名(出席者数)	奈良高男 田中さえり 齋地 満 森田文江 平野康子 新井守夫 八馬武徳 金子雅子 中島規夫(9名)																				
欠席者(委員)氏名(欠席者数)	新井みほこ (1名)																				
事務局職員職氏名	<table border="0"> <tr> <td>鴻巣中央図書館長</td> <td>工藤正史</td> </tr> <tr> <td>吹上図書館長</td> <td>安藤禎洋</td> </tr> <tr> <td>川里図書館長</td> <td>保坂彩子</td> </tr> <tr> <td>教育部参事兼生涯学習課長</td> <td>高橋和久</td> </tr> <tr> <td>生涯学習課主査</td> <td>小山文代</td> </tr> <tr> <td>生涯学習課主任</td> <td>山際望美</td> </tr> <tr> <td>TRC図書館サポート事業部</td> <td>辻本直人</td> </tr> <tr> <td>TRC図書館サポート事業部</td> <td>遊馬雅子</td> </tr> <tr> <td>TRC図書館サポート事業部</td> <td>田多和樹</td> </tr> </table>			鴻巣中央図書館長	工藤正史	吹上図書館長	安藤禎洋	川里図書館長	保坂彩子	教育部参事兼生涯学習課長	高橋和久	生涯学習課主査	小山文代	生涯学習課主任	山際望美	TRC図書館サポート事業部	辻本直人	TRC図書館サポート事業部	遊馬雅子	TRC図書館サポート事業部	田多和樹
鴻巣中央図書館長	工藤正史																				
吹上図書館長	安藤禎洋																				
川里図書館長	保坂彩子																				
教育部参事兼生涯学習課長	高橋和久																				
生涯学習課主査	小山文代																				
生涯学習課主任	山際望美																				
TRC図書館サポート事業部	辻本直人																				
TRC図書館サポート事業部	遊馬雅子																				
TRC図書館サポート事業部	田多和樹																				
傍聴の可否	可(0人)																				
会議の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. あいさつ 3. 議事内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和5年度事業計画進捗状況報告 (2) 令和5年度蔵書点検結果報告 (3) その他 鴻巣市図書館を使った調べる学習コンクール報告 4. 電子図書館を使ってみよう 5. 閉会 																				
決定事項	<p>【質疑応答、決定事項等】</p> <p>1 令和5年度事業進捗状況報告について事務局から説明を行った。委員からは次のような意見が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べる学習コンクールについて賞から漏れた子ども次の作品作りの意欲につながるような工夫をお願いしたい。 ・調べる学習コンクールの外部へのPRを積極的に行ってほしい。 ・図書館たんけん、見学の受入れについて低学年のうちから本に親しむために、積極的に受け入れを行ってほしい。 ・赤ちゃんタイムだけでなく、常時子ども連れでも来館しやすくなるような配慮工夫を検討してほしい。 																				

<p>決定事項</p>	<p>2 令和5年度蔵書点検結果報告について事務局から説明を行った。</p> <p>3 その他で調べる学習コンクールの審査状況、表彰式について事務局から説明を行った。委員からは次のような意見が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査員に外部の評価者を加え客観性を持たせてはどうか。 ・図書館協議会委員が審査に加わるのはどうか。 ・過去の受賞作品を見ることはできるのか。 →レプリカを作成し図書館で閲覧できるようにしていると回答。 <p>会議後、電子図書館の使い方について研修を行った。</p>
<p>配布資料</p>	<p>1 次第</p> <p>2 配布資料</p> <p>資料1 令和5年度事業計画進捗状況報告</p> <p>資料2 令和5年度蔵書点検結果報告</p>